

平成 26 年 1 月 10 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 464 回 構造懇話会 平成 25 年度新例会のご案内【最終版】

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 25 年度新例会を下記のとおり開催いたします。
新例会は以下の通り、会員諸氏の常日頃の身近なテーマを取り上げています。
兵庫県、神戸市および各会社、団体の関係部局にもご案内をいただき、活発な
討議を期待しています。多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 26 年 1 月 31 日 (金) 13:15~17:15
○新例会終了後、懇親会(17:30~19:30(時間は予定))を開催する予定です。
○懇親会参加申し込み用紙を作成いたしました。参加希望の方は「構造懇話会懇親会
申込書」をご参照のうえ、お申込み願います。

2. 場 所 兵庫県民会館 11F パルテホール
神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL 078-321-2131

3. テーマ
『 橋梁補修の現状と課題 』
○詳細はプログラムをご参照ください。

[連絡先] 〒530-0012 大阪市北区芝田 1-4-8 北阪急ビル 4 階
阪急設計コンサルタント株式会社 櫛田周平
TEL : 06-6359-2755 / FAX : 06-6359-2762 / e-mail : kushida-s231@sekkei.hankyu.co.jp

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 464 回 構造懇話会 新例会プログラム

テーマ：「橋梁補修の現状と課題」

日 程：平成 26 年 1 月 31 日(金)

時 間：13：15～17：15

場 所：兵庫県民会館 11F パルテホール

【 第 1 部（特別講演） 】

13：15～13：20 開会の挨拶、講演者の紹介
構造懇話会会長 森川 英典

13：20～14：30 特別講演
「長大橋梁の大規模補修事例と本四連絡橋の取り組み」
本州四国連絡高速道路(株) 藤原 亨 氏

14：30～14：45 休憩

【 第 2 部（パネルディスカッション） 】

14：45～14：55 パネルディスカッションの主旨説明とパネラーの紹介
構造懇話会会長 森川 英典

14：55～15：55 パネラーによる話題提供

(1) 「阪神高速における補修の現状と課題 －ASRと塩害－」
阪神高速道路(株) 足立 幸郎 氏

(2) 「JR西日本における電気化学的補修の現状と課題」
西日本旅客鉄道(株) 吉田 隆浩 氏

(3) 「河川橋梁の洗掘による被害と対策」
兵庫県道路保全課 高田 隆史 氏

16:00～17：10 パネルディスカッション 座長・司会
質疑応答 森川 英典

17：10～17:15 閉会の挨拶
構造懇話会副会長 嵯峨 晃

－ 以 上 －

第 456 回 構造懇話会 新例会 特別講演および話題提供の要旨

テーマ：橋梁補修の現状と課題

第 1 部

特別講演：本州四国連絡高速道路(株)長大橋技術センター長 藤原 亨 氏

題目：長大橋梁の大規模補修事例と本四連絡橋の取り組み

要旨：

近年、高速道路各社で大規模更新、大規模修繕の必要性が議論され、具体的な計画策定が進められているが、本四連絡橋については、代替道路がなく超長期にわたり橋を健全に保つ必要があるため、予防保全を管理の基本方針とし、架け替えを想定しない維持管理を目指している。海外での長大吊橋等の大規模補修の事例を紹介するとともに、これまでレビューを踏まえた本四連絡橋の保全の今後の課題と取り組みについてお話しする。

第 2 部

パネルディスカッション

コーディネーター：神戸大学大学院工学研究科教授 森川 英典 (構造懇話会会長)

パネラー：

(1) 話題提供者：阪神高速道路(株)大阪管理部保全技術総括担当課長 足立 幸郎 氏

題目：「阪神高速における補修の現状と課題 - A S R と塩害 -」

要旨：

損傷は処置すればOKではない。構造の劣等生では、損傷が再発する傾向にある。したがって、補修は繰返し行われるのが常である。この補修の繰返しのなかで近年顕在化しつつある課題が、補修による損傷の「見えない化」である。補修が進むと必ず損傷が見えなくなり、その影響で損傷が技術者に響かなくなり、結果としてタイムリーな再補修が困難になっている。阪神高速でのA S R、塩害、その他の事例を紹介するなかで、損傷の「見える化」の本当の意味についてみなさんと一緒に考えたい。

(2) 話題提供者：西日本旅客鉄道(株)鉄道本部施設部土木技術課主査 吉田 隆浩 氏

題目：「JR西日本における電気化学的補修の現状と課題」

要旨：

JR西日本では、山陽新幹線鉄筋コンクリート構造物の早期劣化を受けて、劣化の原因究明や劣化原因に応じた補修方法の選定、補修材料の規格化等について検討を行ってきた。補修方法には、表面被覆工法、断面修復工法、電気化学的補修工法があるが、現在では、断面修復工法の適用箇所が多く、電気化学的補修工法の適用拡大にはコスト面や長期耐久性の評価等の諸課題を有しているのが現状である。電気化学的補修工法について、実構造物への適用事例と補修後の追跡調査から得られた知見、課題について紹介する。

(3) 話題提供者：兵庫県県土整備部土木局道路保全課主査

高田 隆史 氏

題目：「河川橋梁の洗掘による被害と対策」

要旨：

兵庫県では、これまでの点検結果を基に、桁や床版等部材の健全度に着目した長寿命化修繕計画を策定し、補修工事を実施してきたところであるが、最近、台風時の出水の影響による河床洗掘に伴い、路面の陥没や橋脚・橋台沈下等の大きな損傷を受ける事例が2件発生している。従来から下部工の洗掘状況については、目視中心の点検を実施してきたところであるが、今後はフーチング部の洗掘状況を直接確認する等、より詳細な点検を実施していく予定である。ここでは、橋梁の被災事例と今後予定している洗掘状況の点検について紹介する。

構造懇話会 懇親会申込書 (返信用 FAX)

新例会終了後、兵庫県民会館レストラン(B1F)にて懇親会を開催します。
参加を希望される方は、必要事項をご記入の上、ご返信の程お願い申し上げます。

懇親会費用 : ¥4,000/人 (当日集金させていただきます)
返信先FAX番号: 072-771-0502

住友電工スチールワイヤー株式会社
PC 技術部 システム技術グループ
星野 康弘 宛
TEL 072-771-0508

| 所属 | お名前 | 領収書 (どちらかに○) |
|----|-----|-----------------|
| | | 必要・不要 |

恐れ入りますが、1月17日(金)までにご返信の程よろしくお願い申し上げます。

尚、E-Mailでご返信いただいても結構です。E-Mailの場合は、

E-MAIL : s920258@sei.co.jp 星野 康弘 宛 にお問い合わせ致します。